

# 郷土しりょうかん

わた り ちやうりつきやう ど しりやうかん  
 亶理町立郷土資料館

〒 989-2351 亶理郡亶理町字西郷 140

Tel : 0223-34-8701 Fax : 0223-34-8709

E-mail : kyoudo@town.watari.miyagi.jp

## 国史跡三十三間堂官衙遺跡指定 30 周年記念 三十三間堂官衙遺跡を知ろう！(3)

さんじゅうさんげんどうかんがいせき  
 三十三間堂官衙遺跡について理解を深める連載3回目は、遺跡の特徴についてです。

### 郡衙の立地と通路

郡衙の施設は、遺跡中央の大きな沢によって南北に分かれています。北地区には郡庁院など役所の施設が、南地区には正倉院が置かれました。また、東から入る沢を利用した通路は麓と繋がっていて、郡庁院などの施設と正倉院を繋ぐ通路も一部でみつけられました。

### 郡庁院と官衙施設

#### \* 郡庁院

儀式や政務を行う郡衙の中心施設で、規模は南北約65m×東西約50mの長方形、ほぼ等間隔で並ぶ一本柱塀で囲まれました。この塀の正面には南門(八脚門)、東辺には東門(四脚門)、南西隅には櫓が取り付けられ、東辺の一部では材木柱塀があったことがわかりました。主要な建物の正殿、西脇殿、区画北辺建物、北東・北西隅建物は3回建替えられ、3時期目までは掘立柱建物でしたが4時期目は礎石建物になったと考えられます。これらの建物は柱穴の規模が大きく、配置に規則性があり、最も



▲正殿

格式の高い正殿は、基壇の上に建てられました。

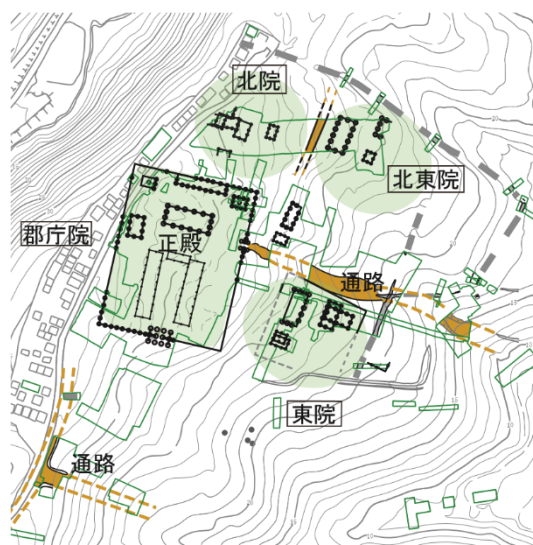
また、郡庁院北東部を中心に2時期目に火災があり、これに伴って大規模な建替えが行われたようです。

#### \* 東院・北東院

東門から東に延びる通路の両側、郡庁院の東と北東に塀で囲まれた建物群が2か所でみつけられ、これらは館(役人たちの宿泊施設)だったと考えられます。

#### \* 北院

郡庁院の北には掘立柱建物や竪穴住居などがあり、厨屋(給食施設)があった可能性が考えられます。



▲郡庁院とまわりの施設

次回は、正倉院や史跡の整備計画について紹介します。

次号の「郷土しりょうかん」は、1月に発行する予定です。

郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口に置きますのでご覧ください。



# WATARI TRIPLE [C] PROJECT



## 「みんなで思う、感じる、亘理」を開催しました

8月6日(土)から28日(日)まで、夏のテーマ展をWATARI TRIPLE [C] PROJECTと共催で行いました。

この展示は、プロジェクトメンバーが亘理町で暮らし、地域住民とコミュニケーションを図る中で感じたことや思いを、それぞれの活動を通して伝えることをコンセプトに開催されました。

令和3年度の春のテーマ展に引き続きアーティストの作品を展示したほか、ミュージシャン・ダンサー・サーファーの活動の上映、日々の暮らしに役立つ防災術の紹介など多彩な内容の展示になりました。

連日多くの方が訪れ、18日間で714人の方にご覧いただきました。



▲展示室内の様子



▲8月6日に行われたミニライブの様子



## 伊達成実霊屋御開帳



亘理伊達家の菩提寺である大雄寺には歴代領主の墓が建てられており、その中心にあるのが初代領主伊達成実が眠る霊屋です。

霊屋は正保3年(1646)に成実が79歳で亡くなってから間もなく築かれ、中には軍扇を持つ甲冑姿の成実木像が納められました。霊屋は江戸時代初期を代表する霊屋建築として宮城県の指定文化財になっています。

今年度も8月16日(火)に霊屋を開帳して成実木像と共に一般公開したところ、217人の方が参拝されました。当日は奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊の伊達成実様と、生涯学習課文化財班職員による現地解説会を午前・午後に行いました。書状から見えてくる成実の人物像などについて解説し、71人の方にご参加いただきました。



◀左：成実霊屋御開帳  
右：解説会の様子

### 次回御開帳

\*日 時 令和5年1月16日(月)9:00~16:00

\*場 所 亘理領主伊達氏歴代墓所(大雄寺境内 亘理町字泉ヶ入87-2)

\*解説会 11:00~11:40(申込不要)

※1月16日は郷土資料館が休館日であるため、スタンプラリーは開催しません。



# 記念展



## 「古代の役所—陸奥国日理郡衙からみる律令時代—」

10月8日(土)から11月27日(日)まで、三十三間堂官衙遺跡が今年で国の史跡指定30周年になることを記念して開催しています。逢隈地区にあるこの遺跡は、平安時代前半ごろの日理郡衙(郡役所)の跡です。遺跡の保存状態がよく、役所の施設の移り変わりや構成がわかることから、平成4年(1992)に国の史跡に指定されました。

今回の記念展では、律令制の仕組みや、三十三間堂官衙遺跡の発掘調査成果、遺跡の特徴や役割、亘理郡周辺の律令時代の様子について紹介しています。

また、今年度から実施する史跡整備事業についても紹介していますので、“史跡整備とは何か、史跡を広く知らせ・親しんでもらうために何をすべきか”をみなさまにも考えていただけたら幸いです。



▲三十三間堂官衙遺跡出土土器

## 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」開講！

今年度は開催中の記念展と連動して、「三十三間堂官衙遺跡をとおして学ぶ古代の官衙」をテーマに、講演会を開講します。今回の講師は三十三間堂官衙遺跡整備委員会の副委員長を務めていただいている大橋泰夫さんです。みなさまのご参加をお待ちしています。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のため、事前申し込み制としています。ご了承ください。

### 「三十三間堂官衙遺跡を学ぶ」

- 講師 大橋 泰夫 氏(国立大学法人島根大学 法文学部教授・三十三間堂官衙遺跡整備委員会副委員長)
- 日時 11月3日(木・祝) 13:30~15:30(開場12:45~)
- 会場 図書館 視聴覚ホール(悠里館3階)
- 参加 郷土資料館窓口または電話(34-8701)で申し込み、定員80人(先着順)、無料



## 文化の日はオープンミュージアム！

今年も11月3日(木・祝)の文化の日は郷土資料館を特別開館し、各種イベントを行います。

チャレンジクイズをはじめ、普段は見ること・体験することができないイベントもあるので、ぜひお越しください。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、内容に一部変更が生じる場合があります。ご了承ください。

### 体験コーナー

時間 9:00~16:30  
場所 常設展示室・企画展示室  
内容 紋切り(切り絵)や昔のおもちゃで遊ぶことができる体験コーナーがあります。この機会にいろいろな体験をしてみたいでしょうか。



### 郷土芸能演舞会

時間 10:30~11:00  
場所 エントランスホール(悠里館1階)  
内容 町無形民俗文化財に指定されている「亘理杵取り舞」の演舞会を行います。亘理の伝統的な民俗芸能をぜひご覧ください。演舞会後は郷土芸能の映像を上映します。



# 郷土資料館カレンダー・利用状況

## 10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8 記念展 初日
9	10 スポーツ の日	11 上映会 ※	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28 資料 整理日	29

## 11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 文化の日 特別開館	4	5
6	7	8	9	10	11 上映会 ※	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23 勤労感謝 の日	24	25 資料 整理日	26
27 記念展 最終日	28	29	30			

## 12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 上映会 ※	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 資料 整理日	24
25	26	27	28	29	30	31

←←←←←年末休館→→→→→

◆  は休館日

※上映会は「わたり復興の歩み」を終日上映

時間 9:00~16:30

場所 悠里館1階エントランスホール

### 常設展

R4.7.1~9.30

●開館日数…74日間

●観覧者数…1,629人(1日平均23人)

### 夏のテーマ展「みんなで思う、感じる、亘理」

R4.8.6~8.28

●開館日数…18日間

●観覧者数…714人(1日平均40人)

ご観覧、誠にありがとうございます



## おわりに

今年度3回目の「郷土しりょうかん」発行です。ところで、みなさまは10月8日が『何の日』かご存知ですか。そう、『はらこめしの日』です。毎年この時季になると、はらこめしを求めて亘理町にお越しになる方が増えるのを見て、「そうか、もう秋か」と実感しています。

さて、10月から12月の事業についてですが、郷土資料館では記念展、オープンミュージアム、ものしり大学院などを開催します。各種事業を通して三十三間堂官衙遺跡の大切さをお伝えするため、職員皆奮闘中みなふんとうです。はらこめしを味わいがてら、ぜひ郷土資料館にも足をお運びください。

郷土資料館利用案内

\*開館時間…9:00~16:30(入館は16:00まで)

\*観覧料…**無料** ※特別展等有料の場合あり